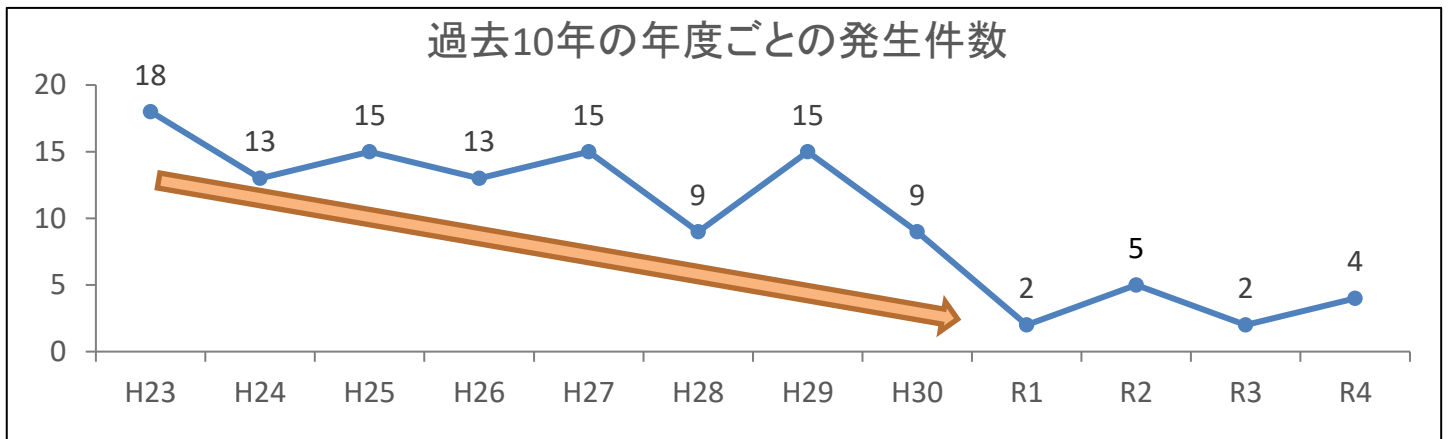


# 生乳への抗菌性物質残留事故が発生しました!!

1月から2月にかけて、オホーツク管内で、今年度3、4例目の生乳への抗菌性物質の残留事故が発生しました。原因はマーキングの見落としによる誤搾乳及びロボット搾乳システムへの入力忘れによる誤搾乳です。

事故の多くは何らかの対策がとられていた農場でも発生しています。

2重、3重の対策を実施し、残留事故を防止しましょう。



## ～令和4年度前期の発生原因と改善指導例～

- マーキング見落とし、忘れ、外れによる誤搾乳
  - ⇒ 複数のマーキング、治療の都度マーキング
  - 治療牛の隔離、治療牛を先に搾乳
  - 治療牛数とバケツ数の突合
  - ホワイトボード等を活用した情報共有の徹底
- 治療薬を他の牛に誤投与
  - ⇒ 複数名で治療牛の個体確認、情報共有の徹底
- 自主検査キットの実施忘れ、不適切使用
  - ⇒ 結果が不鮮明な場合は農協等へ連絡する
- 乾乳軟膏投与後、乾乳舎へ移動し遅れ、移動し忘れ
  - ⇒ 乾乳軟膏は乾乳舎へ移動させてから投与
- ロボット搾乳での情報登録ミス
  - ⇒ 入力情報を複数名で確認
  - 入力以外の記録も残し、確認する

